

製品名: リン酸化ヒストン H2A (Ser129) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab00687

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 14 kDa; Observed MW: 14 kDa

抗原情報

遺伝子名	HTA2
別名	FLJ92027; H2A histone family; member C; H2A.1; H2A/c; H2A1; H2AFC; H2AFD; H2AFI; H2AFN; H2AFP; HIST1H2AG; HIST1H2AI; HIST1H2AK; HIST1H2AL; HIST1H2AM
遺伝子 ID	852283.0
SwissProt ID	P04912
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

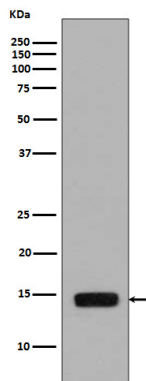
背景

H2A.1ヌクレオソームの中核構成要素。ヌクレオソームはDNAをクロマチンに包み込み、DNAを鋳型として利用する細胞機構へのDNAのアクセスを制限します。ヒストンは転写制御、DNA修復、DNA複製、そして染色体の安定性において中心的な役割を果たします。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



メチルメタンスルホン酸で処理したサッカロミセス・セレビスイエ溶解物中のホスホヒストン H2A (S129) の、ホスホヒストン H2A (Ser129) 抗体を使用したウエスタンブロット分析。